









SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 大和ハウス工業株式会社 熊本支社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・阿蘇地域の後継者不足により耕作放棄地等が増え、生態系の質が低下していることに対し、生物多様性の調査結果をもとに地域特性を生かした街づくりを計画。新たに販売する土地の隣接地に草原と森林を創出している。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・当社グループでは、2030年までに自社活動に要する電力量相当の再生可能エネルギーによる電力創出を目標に掲げ、自社施設・遊休地等への風力発電・太陽光発電システムの導入を推進している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	・地域住民、オーナー様、環境省等のステークホルダーと協働し、「まちづくり憲章」を制定する等、森林保全に取り組んでいる。						6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	・阿蘇の分譲地「ASONOHARA」では、森林整備活動に取り組んだ結果、生物多様性保全に関するABINCとJHEP(AAA)認証を取得している。						6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・2030年までに海洋プラスチックごみ問題に関する影響をゼロにすることを旨とし、「プラスチック利用ガイドライン」を制定。これに基づき、社内で利用している事務用品など使い捨てプラスチックの代替品等への切り替えや削減を推進している。													12.2 12.5		14		
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・エコ自動車手当を設け、従業員のエコ自動車購入を促進している。										9.4		11.2		13.1 13.3			
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	・脱炭素社会の実現に向け、徹底した省エネ対策の推進と再生可能エネルギーの活用により、ライフサイクルにおける温室効果ガス排出量ゼロを目指し、取り組みを進めている。「2050年までに温室効果ガス排出量のネットゼロ」に挑戦している。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13			17.2
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・賃貸住宅管理において、サブリースや管理・運営などの協働体制で、長期的な資産価値の維持に努めている。 ・当社では法定の検査に加え、施工品質においてお客さまに安全で安心な建物を提供するため、事故ゼロを目標として、施工会社と工事担当者による自主検査、工事監理者の立場である品質保証部の検査による「トリプルチェック体制」で検査に合格した建物を引渡している。			3.9							9			12.4				
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・当社は住宅商品の開発・設計を行う際、高齢者、子ども、障がい者を含めた多様な人が住みやすくなるよう、ユニバーサルデザインの「使いやすさ」「わかりやすさ」「安全性」「美しさ」を加えた独自のコンセプト「フレンドリーデザイン」を導入している。 ・都市開発事業においては、交通施設への動線など主要な動線についてはバリアフリー設計とするよう規程で定めるなど、多様な人が住みやすいまちづくりを行っている。									9.1	10	11.7					17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●		・阿蘇では、古くからある温泉を全ての住宅に敷設し、オーナー様にご使用頂く等、地域資源を有効に利用している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●		【予定2021年8月】・8月に竣工予定の新社屋では、一部装飾に使用予定。							7					12.2	13.1		15		

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 大和ハウス工業株式会社 熊本支社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。  
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	当社では、共働き世帯の増加を背景に、家事をまるごと家族全員で「シェア」することで家事負担を軽減するための工夫やアイテムを盛り込んだ戸建住宅「家事シェアハウス」や、新型コロナウイルス感染拡大防止のための在宅ワークや働き方の多様化に対応した森林住宅でのワーケーションやテレワークしやすい住宅の提案など、多様な事業で住まいづくり・街づくりに関わる様々な社会課題の解決に貢献している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地域レベルの社会貢献活動を「地域共生活動」と位置づけ、事務所内の地域共生委員会が主体となり、地域の社会的課題の解決を目的とした活動を展開している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・年に2回、安否確認訓練を行っている。また、緊急時の食糧や帰宅セット等を備えている。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・蓄電池の販売を促進している。 ・地震・台風等の発生による一次被害(倒壊・破損など)や二次被害(停電など)へ配慮した防災配慮住宅「災害に備える家」を販売している。										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・e-Learningや外部講師を招きSDGs研修を行ってもらう等、従業員がSDGsについて学ぶ機会を設けている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・地域共生活動の一環として、要望に応じてD'sスクール(住まいと環境の教育についての出張授業)などを実施している。 ・また本社では一般社団法人おおさか人材雇用開発人権センターからの要請により、定期的に就職困難者などの職場実習の受け入れを行っている。				4						8.6		10.2						17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4						8.5 8.6								17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5						8.6		10.2		12	13	14	15	17

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。